



山頂から眺める戸田方面



**自然や歴史を感じつつ
大パノラマが広がる金冠山へ**

さわやかな秋に、ぴったりの「金冠山」へのハイキングコースを紹介します。

西浦木負のバス停をスタートし、金冠山を目指すコースには、源頼政・菖蒲御前ゆかりの地「禅長寺」や杉の巨木「河内の大杉」といった見どころが続きます。

目的地である金冠山の山頂からは、東に内浦湾、西に戸田地域、南に西伊豆の山々、そして北には駿河湾越しの富士山と360度の大パノラマが広がります。

また、金冠山はクマザサ（スズタケ）の群生地としても有名で、子どもの背丈ほどのクマザサが山の稜線を美しく整えています。

皆さんも、雄大な自然と歴史を堪能できる金冠山へのハイキングでさわやかな秋の一日を過ごしてみませんか。



1 禅長寺(めまづの宝100選)

境内にある頼政堂は、市内にある最も古い建造物の一つとして、市の有形文化財に指定されている。典型的な禅宗式仏殿建築としては市内唯一の建造物。

2 菖蒲塚

禅長寺・頼政堂から少し道を登ると、菖蒲塚という石碑がある。ここからは江浦湾が一望できる。

3 河内の大杉(めまづの宝100選)

樹齢約400年。杉には珍しく地上3.5mのところまで7本に分岐している。県東部でも有数の杉の巨木として県の天然記念物の指定を受けている。根回り約13m、高さ約43m。



**写真愛好家も多く訪れる
沼津の冬ならではの光景**

12月から1月の晴れた寒い日に、沼津御用邸記念公園の前の海岸から「ダルマタ日」を見ることが出来ます。

「ダルマタ日」とは、曇気楼現象の一つで、太陽が水平線に沈む時に、海面から上がる水蒸気の層を通る光が、もう一つの太陽を海面に映し出します。二つの太陽が接する様子は、まるでダルマが海から顔を出しているように見えることから「ダルマタ日」と呼ばれています。

気温が低く、大気と海水の温度差が大きい等、条件が整わなければ見ることができない希少な現象ですが、この「ダルマタ日」を写真に収めようと、首都圏からも、多くの写真愛好家が訪れます。

また、この周辺から千本浜公園周辺まで伸びる散策路「潮の音プロムナード」には、文人たちの文学碑等が点在しており、潮騒とともに歴史や文化の散策を楽しむことができます。

12 潮の音プロムナードと文学碑 (めまづの宝100選)

「潮の音プロムナード」は、沼津御用邸記念公園から千本浜公園周辺までの約6kmにおよぶ、文学の香り高い海辺のプロムナード(散策路)です。

途中、「我入道の渡し船」や沼津港での食事なども楽しめ、芹沢光治良や若山牧水といった文人たちの記念碑や記念館もあります。

3 牛臥山公園 (めまづの宝100選)

牛臥山の起伏や自然の海岸線、松林、自然の植物などを生かした公園。晴天の日には、遠く日本平や南アルプスを望むことができます。

開園時間：9時～16時(2月まで) 駐車場・トイレあり





水を掛ける青年たちと
掛けられる花婿たちの
駆け引きが見どころ



めぐり百選 ぬまづの宝

第3回 伝統文化 えのうら みずしゅうぎ 「江浦の水祝儀」



「水祝儀」は、平成11年に静岡県の無形民俗文化財に指定されており、正月に同地区で行われる「裸参り」とともに伝統行事として伝えられています。

「水祝儀」は前年に結婚した花婿を祝福する行事で、その保証人となる添婿とともに、青年会などと御神酒を酌み交わします。一人前と認められると、境内で青年たちが輪になって手踊りをする「祭礼歌舞」が行われ、花婿・添婿に樽の水を浴びせる水掛けでハイライトを迎えます。

江浦地区の住吉神社では、毎年、正月二日の晩に「水祝儀」が行われます。江戸時代中期から続いている伝統行事で、伊豆半島で盛んだった若者組が始め、その後進となる青年会によって代々継承されてきました。現在では江浦伝統文化保存会が中心となって行われています。

花婿に水を掛けて結婚を祝う
江浦に伝わる正月の伝統行事

1 社殿での神事

和服姿の地元関係者が社殿に集まり、一年の漁の安全と無病息災を祈る神事が行われる。また、地元静岡小学校の児童による「浦安の舞」(写真)も行われる。

2 青年会館での杯事

神事の後、敷地内にある青年会館に場所を移して関係者参列のもと、青年たちと花婿・添婿との間に前後二度のレイシュ(礼酒・冷酒)と呼ばれる杯事が行われる。

3 祭礼歌舞

杯事に続き、音頭取りの祝い歌に合わせて、女装した青年たちが境内で輪になって手踊りを行う。





めぐり百選 ぬまづの宝

第4回 四季折々の 沼津御用邸記念公園

西附属邸で開催中!!
「桃の節句ひな祭り」(4月1日まで)

敬宮愛子内親王の誕生を記念し、子どもの健やかな成長を願い、毎年開催しています。旧沼津藩主水野家のひな祭り(写真)などが飾られています。

インフォメーション

沼津港 414 沼津御用邸記念公園

開園日 年中無休(年末年始を除く)
開園時間 9時～16時30分
入園・観覧料 大人 400円、小・中学生 200円
※入園のみは大人 100円、小・中学生 50円
沼津御用邸記念公園 ☎055-931-0005

また、園内では「お茶会」や「菊華展」、「ジャパンアートフェスティバル」などのイベントが開かれるほか、多種多様な樹木や草花が植えられ、訪れる人々を楽しませる工夫がされています。皆さんも沼津御用邸記念公園に皇室文化の薫りと四季折々の楽しさを味わいに出かけてみませんか。

沼津御用邸は、明治26年に大正天皇のご静養のために造営され、明治・大正・昭和の三代にわたり使用されてきました。昭和44年に廃止されましたが、翌年からは記念公園として邸や庭園が公開されるようになりました。

西附属邸には家具や調度品などが復元されており、当時の皇室の暮らしにふれることができます。さらに「桃の節句ひな祭り」など季節の企画展等も行われています。

潮騒が誘う皇室の薫り
沼津御用邸記念公園へどうぞ!



御用邸 花暦

園内では四季折々、様々な草花が咲き誇ります!

浦島草 (3月下旬～4月上旬)	スカシユリ (6月下旬～7月中旬)	はぎ (9月中旬～10月下旬)	梅 (1月中旬～2月下旬)
藤 (4月中旬～5月上旬)	はまゆり 浜木綿 (7月上旬～7月下旬)	浜菊 (10月中旬～11月中旬)	椿 (1月上旬～3月上旬)
ハマナス (5月上旬～5月下旬)	夏水仙 (7月下旬～8月中旬)	つわぶき (10月中旬～12月中旬)	
あじさい (6月上旬～6月下旬)	ひまわり (7月中旬～8月中旬)	蠟梅 (12月中旬～1月下旬)	※()は見頃の目安です。年によって見頃は多少前後します。
ハマナデシコ (6月下旬～7月下旬)	たかさご 高砂ユリ (7月下旬～8月中旬)	水仙 (12月中旬～1月下旬)	

広報沼津

2012年3月1日号 No.1432 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)
〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社

ぬまづの宝

めぐり百選

第5回 桜のある風景



高沢公園



光長寺



門池公園



愛鷹広域公園



沼川沿い

インフォメーション



今回の「桜のある風景」は東海道本線から北にある桜のスポットをめぐるです！

まずは、沼津駅にほど近い「高沢公園」です。公園のシンボル「D52」蒸気機関車を桜の淡いピンク色が彩ります。

門池地区に移り、「光長寺」の山門をくぐると参道を桜が美しく飾ります。また、近くにある「門池公園」の桜も有名で、ライトアップされた夜桜が楽しめます。

東名高速道路の北にある「愛鷹広域公園」も隠れた名スポット。駐車場から球場への通路には桜のトンネルが現れ、まさに春爛漫を感じさせてくれます。

最後は、「沼川沿い」。国道1号と平行に流れる沼川沿いに数キロ続く桜並木は白隠禅師にちなみ「白隠桜」と呼ばれています。

さあ、新しい季節を「桜のある風景」とともにスタートしましょう。

ぬまづの宝 百選めぐり

第6回 新茶の季節 「ぬまづ茶」をどうぞ

風薫る愛鷹山麓に映える
ぬまづ茶の新芽

若葉の緑が心地よいこの時期、愛鷹山麓から続く丘陵地帯に広がる茶園の新芽の鮮やかさは、沼津の風物詩となっています。

この地域では、江戸時代末期より茶の生産が始められました。明治32年には江原素六の尽力により、政府から愛鷹山国有地の払い下げを受けたことで以降、茶の栽培が本格化していきました。現在では、主に「やぶきた」品種を中心とした栽培が行われています。

沼津産の茶葉だけでつくられる「ぬまづ茶」は、皇室献上茶に選ばれるなど、お茶王国静岡の一翼を担うブランドとして定着する一方、さらなる可能性を求めて粉末茶をはじめとした新商品の開発も進められています。

その年の最初の新芽を摘み取ってくる新茶は、さわやかな香りとともに、冬の間に蓄えられた栄養分があふれています。愛鷹山麓で育まれた「ぬまづ茶」で初夏を感じてみませんか。



江原素六の功績を讃え、毎年3月下旬に開催される献茶式

「ぬまづの宝 100 選」

写真コンクール作品募集中！

今月のおすすめ撮影スポット

- ・こいのぼりフェスティバル
- ・新緑の蛇松緑道
- ・沼津アルプス など

※詳細は、市ホームページで。

numazu

検索



ぬまづの宝100選に選ばれたお宝に関するお知らせは、このロゴとともに紹介しています。

おいしくお茶をいれるためのポイント



水について

水道水を使う場合は、5分ほど沸騰させてカルキの臭いを消してから使用すると、香りと味が良くなります。



保存の仕方

お茶は湿気や熱、光に弱いので、茶缶などの空気の入らない容器に入れて、冷蔵庫などの冷暗所で保存しましょう。



お茶と湯温の関係

お茶は、熱いお湯だと苦みが、ぬるいと甘みがでるので、新茶などのさわやかな香りを楽しみたい時は70度以下のぬるいお湯、強い香りと渋みがほしい時は、熱めのお湯でいれるのがよいでしょう。



広報 沼津

2012年5月1日号 No.1436 発行部数/84,500部

沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社



桜海老

金目鯛

真あじ

かつお

職人技



めまづの宝 百選めぐり

第7回 駿河湾の恵み 「沼津の寿司」をどうぞ

日本一深い駿河湾の
新鮮な海の幸を堪能

沼津港には毎日、多くの新鮮な魚介類が水揚げされます。港周辺を中心に、市内には多くの寿司店が店を構え、沼津の寿司を目当てに多くの観光客が訪れます。

駿河湾は深さ2500mを誇る日本一深い湾として知られていますが、この海こそが、魚介類の豊かさで美味しさを育む源と言えます。

駿河湾の名産であるシラスや桜海老は、産地であるからこそ獲れたての生で食べることができます。新鮮な海鮮を素材とした寿司で海の恵みを堪能してみませんか。

◆沼津で水揚げされる主な魚

- マダイ (3月)
- カツオ (5月)
- アジ (9月)

※静岡県おさかな普及協議会
選定の「旬の魚14選」より



威勢の良いセリの声が飛び交う
沼津魚市場 I N O

「めまづの宝 100 選」

写真コンクール作品募集中！

今月のおすすめ撮影スポット

- ・御用邸記念公園のあじさい
- ・せせらぎの怪と沼津ホテルまつり (14 ページに催しの案内)
- ・めまづ七夕まつり (中心商店街、6月下旬～7月上旬)

※詳細は、市ホームページをご覧ください。



facebook

で情報発信中！

寿司をカウンターで食べてみませんか！

カウンターで板前さんとの会話を楽しみながら食べる握りたての寿司は絶品！そんな寿司屋の醍醐味を、気軽に味わえるのが「カウンターで寿司食いねえin沼津」キャンペーンです。

◆どこで食べられるの？…市内 25 店の協力店で「おまかせコース」を提供します。

◆値段は？…3, 150 円の定額コースです。

◆カウンターは初めてなだけで？…「寿司屋のカウンターデビュー応援BOOK」が、あなたの疑問に答えます。

※最新情報や協力店の詳細は、市ホームページへ。

商工振興課 ☎ 055-934-4748



広報 沼津

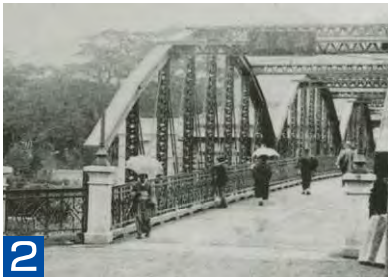
2012年6月1日号 No.1438 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎ 055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/懶耕文社



- 1 現在の御成橋渡り初め式(昭和12年)
- 2 初代御成橋
- 3 整備された河川敷と階段堤
- 4 ライトアップされた美しい夜景



狩野川に架かる 沼津のシンボル

中心市街地を流れる狩野川に架かる御成橋は、沼津市のシンボリックな風景として市民に親しまれています。御成橋は、明治45年7月に前身の「港橋」から県東部初の鉄橋として開通し、沼津御用邸に向かう皇族が御成りになる際に通ることから「御成橋」と改称されました。昭和12年に現在の鉄橋に架け替えられ、太平洋戦争の空襲により被災しましたが、骨格は無事でした。夕暮れになると、水色にライトアップされ、中心市街地の美しい夜景を演出しています。

100選
ぬまづの宝

写真コンクール
作品募集中！

今月のおすすめ撮影スポット

- ・河内天王祭(7月15日(日))
- ・戸田港まつり(7月21日(土))
- ・沼津夏まつり・狩野川花火大会(7月28日(土)・29日(日))
- ・らららサンビーチ

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

numazu

検索

7月28日(土)・29日(日)は 沼津夏まつり・狩野川花火大会！

ぬまづの夏の風物詩として市民に愛され続けているイベントが今年も開催されます。狩野川から打ち上げられる花火と御成橋の美しいアーチの共演は必見です！

☎観光交流課 ☎055-934-4747

狩野川花火大会の開催可否については、フェイスブック「Numazu Topics」とメールマガジン「メルぬま！」でお知らせします。

numazu

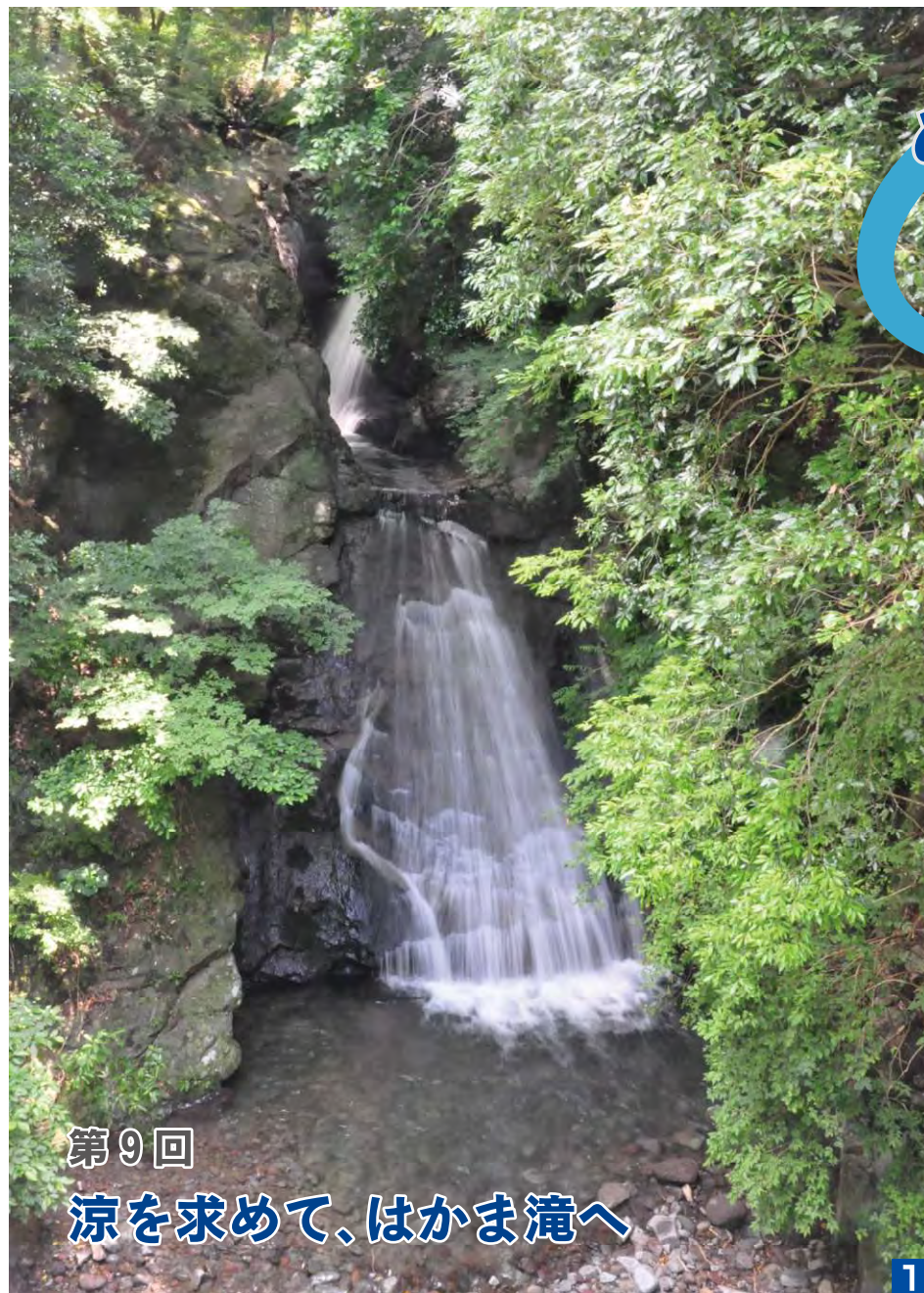
検索

広報 沼津

2012年7月1日号 No.1440 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/樹耕文社



戸田で楽しむ夏

御浜岬に抱かれた、海のまち戸田。美しい砂浜が広がる御浜海水浴場は、波穏やかで、多くの家族連れなどでにぎわいます。

常夏の間から一転、はかま滝せせらぎ公園では、深緑の中で涼やかな滝の流れを見ることができ、落差10メートルほどの二段滝

は、流れ落ちる水しぶきが末広がりになつてはかまのように見えることから、この名が付けられました。公園にはオートキャンプ場も整備されています。

また、戸田には、海越しの富士山や駿河湾の大海原を眺められるビュースポットが点在しています。戸田の豊かな自然のなかで、夏を楽しんでみませんか。

第9回

涼を求めて、はかま滝へ

1

100選
ぬまづの宝

写真コンクール
作品募集中!

今月のおすすめ撮影スポット

- ・御浜岬・大瀬崎
(海水浴場)
 - ・沼津港大型展望水門
「びゅうお」
- ※詳細は、市ホームページをご覧ください。

numazu



2 御浜海水浴場

恐竜の形をしたすべり台等の遊具が海上に浮かびます。



3 駿河湾深海生物館

珍しい深海魚や深海生物の標本約550点あまりが展示されています。



4 出逢い岬

御浜岬、駿河湾、海越しの富士山が一望できるビュースポットです。



広報沼津

2012年8月1日号 No.1442 発行部数/84,200部

沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/樹耕文社



第10回 「発端丈山」から 奥駿河湾を望む

豊かな自然が育んだ
人々の暮らしの足跡

緑豊かな山々、そして美しい海と変化に富んだリアス式海岸。奥駿河湾の景観の素晴らしさは、長い海岸線を有する本市ならではの、大きな魅力の一つです。

この地域では、かつて沿岸部で建切網漁によるマグロ漁が行われていました。また、戦国時代には北条水軍の拠点が置かれ、明治以降は人気の保養地として、文人墨客に愛されるなど、地域の歴史は、自然、地形と密接につながっています。

地域の人々の暮らしを見守ってきた発端丈山からは、奥駿河湾、淡島を眼下に富士山を望む美しい景色を楽しむことができます。



2

3

1 長浜城跡

今川氏没落後、駿河を手に入れた武田氏との争いの中、北条水軍の前線基地として活用されました。国指定史跡。

2 沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具

江戸時代から昭和にかけて使用されていたこの地域の漁撈用具の数々は、国の重要有形民俗文化財に指定されています。(歴史民俗資料館所蔵)

3 安田屋旅館松棟・月棟

明治20年創業の老舗旅館で、「松棟」は広い螺旋階段などに特色があり、太宰治が滞在して「斜陽」の一部を執筆しました。

周辺の「めまづの宝 100選」



100選
めまづの宝

写真コンクール
作品募集中!

今月のおすすめ撮影スポット

- ・ごぜ芸能まつり(9月8日(土))
- ・潮の音プロムナードと文学碑
- ・愛鷹山
- ・金冠山
- ・沼津アルプス

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

numazu 検索

広報沼津

2012年9月1日号 No.1444 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/懶耕文社



第11回 江戸時代の建築様式 「赤野観音堂」



柳沢地区の高台に建つ赤野観音堂は、市内では数少ない江戸時代の建築様式を示す建物で、市の有形文化財に指定されています。木造・茅葺き・寄棟造の平屋建てで、天井には龍、壁面には天女の舞う姿が描かれています。



高さ3メートルの巨大な八畳石

また、この建物は、左甚五郎が藁人形に手伝わせて一夜のうちに造ったという、わら人形伝説が伝えられています。境内には市指定天然記念物のカヤの太木があります。

付近の川原には八畳石と呼ばれる大きな石があり、石の上で白隠禅師が修行したという言い伝えや、石に開いている大きな穴は、ほら貝が抜け出した跡という伝説も伝えられています。

様々な伝説が伝わる地域

沼津市長選挙

投票日

10月28日(日)

投票に行きましょう！



静浦小中一貫校グラウンドで 「沼津の森づくり第3回植樹祭」を開催！

9月8日(土)に、静浦小中一貫校グラウンドで、植樹祭を開催しました。静浦小・中学校の児童・生徒や市内の企業・団体などから約450人が参加しました。

横浜国立大学名誉教授の宮脇昭さんの指導で、その土地本来の潜在自然植生の主木を中心に、様々な樹種を混植、密植する「宮脇方式」を実践し、カシ・シイ類、タブノキなど約2,600本の苗を一本ずつ丁寧に植えました。





めぐり 百選 めまづの宝

第12回

中心市街地が熱く盛り上がる 「よさこい東海道」

今回で16回目を迎える「よさこい東海道」は、南国土佐に生まれ、今や全国にファンを増やし続けている「よさこい踊り」を、沼津風にアレンジして平成9年に始まりました。

今年も11月10日(土)・11日(日)の2日間、県内外から集まった3千人を超える踊り手が鮮やかな衣装をまとい、華麗に踊ります。沼津の中心市街地は笑顔と熱気で、楽しく熱く、そして華やかに盛り上がります。



※当日に開催可否をよさこい東海道ホームページ及びフェイスブック「NumazuTopics」、メールマガジン「メルぬま!」でお知らせします。

100選 写真コンクール めまづの宝 作品募集中!!

今月のおすすめ撮影スポット

- ・よさこい東海道 2012 (11月10日(土)・11日(日))
- ・高尾山神社祭典 (11月24日(土)・25日(日))

応募期限

平成25年1月25日(金)(必着)
※詳細は、市ホームページをご覧ください。 numazu

※各会場の演舞時間及び交通規制情報は、ホームページを(覧)下さい。
◎よさこい沼津まつり実行委員会 (沼津商工会議所内)
☎055・931・1111
◎商工振興課(商業係)
☎055・934・4748

ホームページアドレス
<http://yosakoi-tokaido.info/>

県東部の物産販売軽トラ市を開催!
とき 11月11日(日)、10時～14時
ところ プラサヴェルデ建設地前 (旧キフメッセめまづ前)

11月11日(日)
本祭 11時～16時30分
プラサヴェルデ前演舞場、北口演舞場、上本通り演舞場、アーケード審査会場、本町審査会場、仲見世演舞場、狩野川演舞場
ファイナル 17時～19時30分
狩野川演舞場

11月10日(土)
前日祭 11時～17時
沼津駅南口演舞場、イシバシプラザ正面玄関前、仲見世演舞場、上土演舞場、魚町・仲町演舞場、狩野川演舞場
前夜祭 17時～19時30分
狩野川演舞場

広報 沼津

2012年11月1日号 No.1448 発行部数/84,500部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社



第13回

初春を告げる原地区の伝統行事 「おんべこんべ」

市制施行 90 周年記念ロゴマークが 決定しました！

108 点の応募の中から、選定委員会の選定を経て、久保田陽子さん(松長)の作品に決定しました。



海の幸の豊かさを青色、特産品のみかんをオレンジ色、お茶と市の木である松を緑色で表現しています。また、「90th」をはみださせることにより、未来への飛躍をイメージしています。

※ロゴマークを使用する場合には、申請が必要です。詳細は、市ホームページをご覧ください。お問い合わせ下さい。

numazu

☎ 政策企画課 ☎ 055-934-4704

地域で繋ぐ伝統行事

原地区を中心とした沼津市西部では、毎年1月2日の早朝、子どもたちが竹を担いで無病息災を願い町中を練り歩く行事、「おんべこんべ」が行われます。

「おんべこんべ」とは大小2本の竹のことを意味し、大きい竹をおんべ竹、小さい竹をこんべ竹と呼びます。その長さは約15〜20メートルにも及びます。

原西町では、約20年前にこの伝統行事を復活しようとの声がおこり、現在も盛大に行われています。

今年も原の浅間大社を出発した子どもたちが竹を担ぎ、「オンベー、コンベー」などと大声で叫びながら町内を練り歩きました。

おんべこんべで担いだ竹は、どんど焼きの際に海岸に立てられ、お飾りや書き初めとともに燃やされます。



広報 沼津

2013年2月1日号 No.1453 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎ 055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/協耕文社

めぐり 百選 ぬまづの宝



第14回 四季折々の表情を見せる 「北山の棚田」

里山に広がる原風景

戸田新田地区の山あいの斜面に広がる北山の棚田には、日本の原風景のような美しい景色が広がります。この棚田は300年以上前に富士宮市の北山地区から移り住んだ人々によって築かれたと言われ、丁寧に積み上げられた石積みが特徴です。平成11年には日本の棚田100選に認定されました。

北山の棚田では、米作りを体験するオーナー制度を実施しており、毎年市内外から集まった多くの人たちが、田植えや稲刈りを通じて自然にふれています。また、小学生が授業の一環で稲刈り体験をするなど学びの場にもなっています。

四季折々の表情を見せ、訪れる人の心を和ませくれる棚田は、大切にしたい風景のひとつです。

棚田オーナーを募集します

①問農林農地課(農林振興係)

☎055・934・4751

FAX 055・933・1412

ところ 戸田新田地区

期間 4月下旬～9月下旬

対象 田植え・稲刈り作業に参加できる人(作業は土・日曜日を予定)

募集口数 15口(申込多数の場合は抽選)

会費 年額3万円

特典 収穫米30kg

申込方法 電話または住所、氏名(ふりがな、家族で参加する場合は全員分)、年齢、電話番号を明記してファクスで

申込期限 3月21日(木)(必着)

※結果については3月29日(金)までに応募者全員にお知らせします。

周辺マップ



戸田大川沿いでは、3月下旬から桜を楽しむことができます



芹沢光治良記念館



1階展示室



第15回 沼津が世界に誇る文豪 「芹沢光治良」

沼津市の名誉市民である作家・芹沢光治良は、明治29年に我入道に生まれました。34歳の時にパリ留学中の体験をもとに書いた「ブルジョア」で文壇デビューを果たし、その後「巴里に死す」をはじめとした代表作が仏訳されるなど、国際的に高い評価を受けます。また、日本ペンクラブの会長職を務めるなど、昭和の文壇にも大きな足跡を残しました。

氏が生涯をかけて加筆・修正を続けた「人間の運命」は、没後20年の今年、完全版として新たに発行されています。

平成25年度は、沼津市制施行90周年にあわせ「芹沢光治良と沼津」をテーマとした、第6回沼津文学祭を開催します。

この機会に芹沢光治良の文学にふれてみませんか。

第6回沼津文学祭 「芹沢光治良と沼津」主なイベント

文化講演会：5月18日(土)、作家の三浦朱門さんによる講演会

市民演劇：平成26年1月25日(土)・26日(日)、代表作「人間の運命」をもとにした市民参加による演劇を上演

その他、ミニコンサートや文学散歩など様々なイベントを開催していきます。詳細は、広報ぬまづ等でお知らせします。

☎文化振興課 ☎055-934-4812

企画展「人間の運命」開催

問 芹沢光治良記念館

☎055-932-0255

代表作「人間の運命」の内容を紹介し、芹沢光治良の足跡をたどります。

とき 第一回 4月21日(日)～10月31日(休)

第二回 11月15日(金)～平成26年5月31日(土)

時間 9時～16時30分(入館は16時まで)

入館料 大人100円、中学生以下50円(市内の小・中学生は無料)

休館日 月曜日、祝日の翌日(土・日曜日を除く)

月曜日、祝日の翌日(土・日曜日を除く)

広報 沼津

2013年4月1日号 No.1457 発行部数/84,500部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/榊耕文社

市の木



「松」

市の花



「浜木綿」

ぬまづの宝 百選めぐり

第16回 透きとおる水の宝庫 「浮島の湧水」

無色透明で濁りはなく、水温は15～17℃を保っている(平沼)

浮島地区のぬまづの宝100選！



沼津から見る富士山(浮島)

浮島ヶ原から眺める富士山は、東海道随一とも言われ、多くの浮世絵師に描かれてきました。



アクアプラザ遊水地

貴重な水生・湿性植物や野鳥の観察ができる、浮島沼の湿地を保全したビオトープです。

人々の暮らしを支えてきた湧水

浮島地区は、至る所に湧水や自噴井戸がある水の宝庫です。愛鷹山に降った雨水が地下に浸透し湧き出た水は、ひんやりとして透きとおっています。洗濯や打ち水、農作業を始め、野菜を冷やしたり飲用に用いられたりするなどの多くの用途に利用され、地区の人々の暮らしを支えてきました。平成19年に浮島中学校の生徒たちが調査した時には、118力所もの湧水・自噴井戸が確認されており、古いものでは、戦前に掘られた井戸もありました。屋外に設けられた共同の洗い場では、今でも野菜を洗う光景が見られ、透き通った豊かな水が人々の暮らしに根付いていることを感じることができます。



道路脇の取水口(東井出)



収穫した野菜を丁寧に洗う(東井出)

沼津
広報

2013年5月1日号 No.1459 発行部数/84,500部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社

市の木



「松」

市の花



「浜木綿」



第17回 自然に囲まれた遊歩道 「せせらぎの径」^{みち}

新緑とせせらぎに満ちた

やすらぎの空間

愛鷹広域公園内の西側谷筋に沿った「せせらぎの径」は、自然に囲まれた遊歩道です。付近の湧水を水源とする清流に沿って約五百メートルにわたり整備された散策路では、四季折々の植物や様々な生きものを観察することができます。

また、清流には源氏ボタルも生息しており、毎年6月には、清流に舞うボタルの幻想的な光を楽しむことのできる「沼津ボタルまつり」が開催されます。

空気もさわやかで外出にも最適なこの季節、木々の緑やせせらぎの音を楽しみながら、やすらぎのひとときを過ごしてみませんか。



湿地には木道が架けられている



花菖蒲は6月が見頃

清流に生息するカワトンボ

静岡県知事選挙

投票日

6月16日(日)

伝えよう
選挙で託す
私の思い



「沼津ボタルまつり」を開催します



幻想的な光を放ち飛び交う源氏ボタルを鑑賞しませんか。

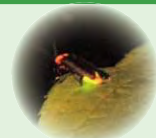
と き 6月15日(土)・16日(日)、
18時～21時(雨天中止)
ところ 少年自然の家芝生広場南側
～せせらぎの径
持ち物 赤セロハンを貼った懐中電灯
服 装 長袖、長ズボン、動きやすい靴

※車で来場される人は、芝生広場東側駐車場、愛鷹広域公園駐車場をご利用下さい。

◎沼津ボタル保護研究会事務局 大竹さん

☎ 055-931-3691

◎少年自然の家 ☎ 055-922-1746



広報 沼津

2013年6月1日号 No.1461 発行部数/84,200部

沼津市役所 ☎ 055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社

市の木



「松」

市の花



「浜木綿」



富士山 ユネスコ世界文化遺産登録へ

第18回 「沼津から見る富士山」



浮島



香貫山



西浦



大平

市制施行 90 周年記念テレビ番組
「寄ってみて！
沼津もてなし見聞録」放送！

タレントの湯原昌幸さん、荒木由美子さん夫妻が、市内を探訪しながら本市の魅力に迫ります。



■放送予定日・時間

SBSテレビ：7月15日(木)、14時～14時55分
BS-TBS：8月10日(土)、12時～12時54分

市民のみならず、日本人にとってもかけがえのない存在である富士山。未来へと伝えていかなければならない人類共通の財産として、いつまでも大切にしていきたい宝物です。

市ホームページでも、沼津から見る富士山を紹介しています！ numazu

富士山は、古よりその美しい姿が信仰の対象や芸術作品の主題となるなど、日本人の美意識と関わりながら、豊かな文化を育んできました。

この霊峰富士を間近に拝することのできる本市からは、全国に誇る眺望である海越しの富士山をはじめ、市内の各所から様々な表情の富士山を見ることができ、四季折々の各地域の景観と一体となったその姿は、それぞれ個性的で魅力があり、富士山のある景色は、私たちの暮らしの一部ともなっています。

いつまでも大切にしたい
日本人の心のふるさと

広報 沼津

2013年7月1日号 No.1463 発行部数/84,200部 沼津市役所 ☎055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社

市の木



「松」

市の花



「浜木綿」



ぬまづの宝 めぐり百選

第19回

市民が憩う安らぎの空間
「門池」

自然豊かな親水公園

門池は黄瀬川の水を農業用水として利用するために江戸時代に整備されたため池で、地域の人々の暮らしを支えてきました。

現在では外周に園路・芝生広場を整備した親水公園として、市民の憩いの場になっています。1周約1・3kmの遊歩道は散歩・ジョギングコースとして多くの人に利用されています。また、随所に休憩所が設けられ、ベンチに座りながら池や富士山を眺めることができ、ゆつたりとした時間を過ごすことができます。

自然豊かな園内は、春には桜、夏には菖蒲、秋から冬にかけては雪化粧をした逆さ富士が見られるなど訪れる人を飽きさせません。

一年を通じて様々な表情を見せてくれる門池に、皆さんも足を運んでみませんか。



桜並木

1



水面に映る富士山

2



7月にオープンした北側部分の公園

3

見所いっぱい門池公園

- 桜 (3~4月)
- 芝桜 (4月)
- つつじ (5月)
- あじさい (6月)
- 花菖蒲 (6~7月)

雪化粧をした逆さ富士
ビューポイント(11~3月)





第20回 戦国時代の水軍城 「長浜城跡」

美しい景色と

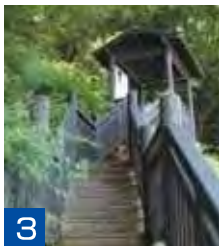
歴史の香りを楽しむ

駿河湾の最奥部、内浦の重須と長浜に位置する長浜城は、海に突き出た小さな山を、そのまま城郭として利用した水軍城です。戦国時代、駿河を手中に収めた武田氏との争いにおいて、北条水軍の前線基地として利用されていました。

この城は、全国的にも珍しい水軍城で、戦国時代後半の城の様子がよく残っていることから、昭和63年に国の史跡に指定されました。市では整備を進め、現在は、土塁や空堀などが復元されています。

標高30メートルの第1曲輪から望む奥駿河湾越しの富士山とともに、歴史の香りを感じてみませんか。

- 1 建物跡を柱で再現した第2曲輪
- 2 第1曲輪から富士山を望む
- 3 長浜側の登城口階段
- 4 登城口前案内看板



沼津市の主な歴史遺産



国指定史跡(根古屋) 北条早雲旗揚げの城とされており、大土塁や大空堀が残っています。



国指定重要文化財(戸田) 明治初期に流行した擬洋風建築住宅で、長八の漆喰装飾も施されています。



国登録記念物(原) 原植松家の珍しい植物のコレクションを主体とした庭で、シーボルトも絶賛しました。

※現在、長浜城跡・興国寺城跡は一般公開、松城家住宅・帯笑園は暫定公開しています。

見学等の詳細についてはお問い合わせ下さい。

◎文化財センター ☎ 055-952-0844

広報 沼津

2013年9月1日号 No.1467 発行部数/84,000部 沼津市役所 ☎ 055-931-2500(代)

〒410-8601 沼津市役所 広報課 TEL / 055-934-4703 FAX / 055-935-1560
電子メール kouhou@city.numazu.lg.jp 市政テレホンサービス TEL / 055-932-1000
ホームページアドレス http://www.city.numazu.shizuoka.jp/

この広報紙は、再生紙を使用しています。印刷/㈱耕文社

市の木



「松」

市の花



「浜木綿」